

三森 信夫

前略、過日は面識のない者が突然お尋ねの Tel を差しあげ、御無礼しました。

『水俣病の科学』西村肇・岡本達明共著に第 55 回毎日出版文化賞を与えた件につき、現在考えられておられる（既にしておられる）御社の処置についてお尋ねしたところ、問い合わせ趣旨を文章にして提出して欲しい、そうすればお答えするとの御返答でしたので、それをお届けします。宜しくお取計い願います。

1. 『水俣病の科学』へ毎日出版文化賞を与えたことの見直しの件

問い合わせの動機（趣旨説明）

①鈴木 譲 東大(院)教授の「日本水産学会誌 vol.73 No.5 p-995」の投稿一収載を知り、『水俣病の科学』の毎日出版文化賞受賞は不当と思ったからです。

（鈴木教授は、毎日出版文化賞受賞を問題視しての投稿であることを、その冒頭に述べています。）

②鈴木教授の投稿論文のことを山口様は御存知なかったとのこと故、お取り寄せになったと思いますが先ず、そのコピーを同封します。

尚、学会誌投稿後でしようが、今年 8 月 25 日環境行政改革フォーラム（青山貞一主催）2007 年研究発表会に於て、「魚への水銀蓄積は餌由来である—『水俣病の科学』批判」のタイトルで、鈴木教授が発表しておられます。

従って、その道の専門家の間では、その時点以降、御社の対応を注目していたと思います。

③『水俣病の科学』の推算と鈴木教授の指摘試算とを見較べると、その数値差は測定誤差などで論じ得るようなものでないことは明白です。（桁違いどころか、大桁違いで論理の基本から生じているものです。鈴木教授はそれを素人でも理解